

先端ピースと本体鋼管の組み合わせで 高支持力・低コストを達成

本体鋼管の径を先端ピースの軸径よりも細くしつつ、十分な強度を確保できる構造を採用した地盤補強工法。らせん状の翼部鋼板（先端翼）を取り付けた鋼管杭を使用し、回転貫入装置を備えた杭打機で、回転させながら地盤中に地盤補強材として貫入する。また、セメントプラントでの管理工程を省略できることで、工期の短縮と経済性の向上を実現する。

■特許・認定

- ・特許証（第6749560号）
- ・建築技術性能証明(GBRC 性能証明 第19-04号 改2(更1))

【特長】

① α 値160の高支持力

先端ピースの形状にこだわり α 値160の高支持力を実現、地盤に対する優れた耐荷重性能を提供する。

② 最小限の重機で施工

コンクリートプラント車が必要な従来の柱状改良とは異なり、鋼管杭を地盤に回転貫入するため、建柱車のみで施工が可能となる。これにより、重機の数減らし、コスト削減および省スペース化が実現する。

③ 経済性の向上

7種類の先端ピースに最適な本体鋼管を組み合わせることで、余分な原材料費を削減可能。さらに、軽量化により運搬費・施工費も大幅に削減することができる。

④ 撤去費用の削減

鋼管杭を引き抜くだけで撤去が完了するため、柱状改良のような地盤の乱れや、高額な撤去費用が発生しない。

⑤ 環境への配慮

産業廃棄物となる残土が生じず、土壌汚染のリスクを回避することができる。

⑥ 低騒音・低振動

コンパクトな重機と設備を使用することで、騒音や振動を最小限に抑え、近隣の生活環境へ配慮する。



施工状況



建築技術性能証明書

問い合わせ先

株式会社刃 Tel.03-829-4542 <https://yaiba.co.jp/>